

(1) 被爆80周年記念事業一覧 (原爆被爆対策部)

取組方針	事業名 (款項目 事業3名称)		実施年月	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額	
	新規	1						事業費全体	
市内	新規	1	第11回平和首長会議被爆80周年記念総会の開催 (2.1.11 第11回平和首長会議総会開催費負担金)	R7.8	平和推進課	4年に1回、広島市と交互に開催している平和首長会議総会を令和7年に長崎市で開催し、8,500を超える国内外の加盟都市との連携を強化するとともに、被爆地から世界に向けて核兵器廃絶と世界恒久平和への力強いメッセージを発信する。	240人 (参加登録者数) 1,950人 (延参加者数)	R6	(事業費全体) 35,000 (80周年) 35,000
	新規	2	在外被爆者の平和祈念式典への招請及び被爆体験の継承 (3.4.5 平和祈念式典行事費)	R7.8	調査課	在外被爆者(ブラジル1名、韓国2名)を平和祈念式典に招請し、参列いただくとともに、国外で生活した経験を踏まえた自らの被爆体験や平和への思いを語っていただき、被爆体験を継承する。	-	R7	(事業費全体) 103,668 (80周年) 4,412
	新規	3	長崎ピース・プレナー・フォーラム2025における被爆の実相プログラムの実施 (2.1.11 平和推進活動費)	R7.5	平和推進課	長崎で開催する「長崎ピース・プレナー・フォーラム2025」において、市民をはじめとした多くの人々に被爆者の声を直接届ける機会を提供する。	約350人	R7	(事業費全体) 16,181 (80周年) 2,500
	新規	4	第24回核戦争防止国際医師会議(IPPNW)世界大会in NAGASAKIにおける被爆の実相発信プログラムの実施 (2.1.11 平和推進活動費)	R7.10	平和推進課	核戦争を医療従事者の立場から防止する活動を行う核戦争防止国際医師会議(IPPNW)の第24回世界大会において、市民をはじめとした多くの人々に被爆者の声を直接届ける機会を提供する。	356人	R7	(事業費全体) 16,181 (80周年) 1,500
	新規	5	核兵器禁止条約発効5周年記念パネル展示 (2.1.11 平和推進活動費)	R8.1	平和推進課	令和8年1月に核兵器禁止条約発効5周年を迎えるにあたり、条約の意義や条約に込められた被爆者の思いなどを伝えるパネルを展示する。	-	R7	(事業費全体) 16,181 (80周年) 330
	新規	6	開館30周年特別展「閃きのあとー長崎原爆資料館の軌跡」の開催 (2.1.11 長崎原爆資料館運営費)	R8.3~ R8.8	平和推進課	長崎原爆資料館のあゆみとこれまで集められた資料から、人々の継承の営みを改めて振り返ることで、資料を残してきた人々の思いに触れていただき、未来へ受け継いでもらうきっかけづくりを行う。	-	R7	(事業費全体) 64,999 (80周年) 1,000
	新規	7	大阪・関西万博に合わせたヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催 (2.1.11 ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会負担金)	R7.8~ R7.12	被爆継承課	多くの人々が訪れる2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)開催の機会を捉え、広島市と共同で大阪市において原爆・平和展を開催することで、広く被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての国際世論を醸成する。	33,593人	R7	(事業費全体) 16,368 (80周年) 1,623
	新規		大阪・関西万博に合わせたヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展のオープニングセレモニーへの出席 (2.1.11 長崎原爆資料館運営費)	R7.7	被爆継承課	大阪・関西万博に合わせたヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展オープニングセレモニーに出席し、平和アピール活動を実施する。	-	R7	(事業費全体) 64,999 (80周年) 195
	新規	8	国連大学でのヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展の開催 (2.1.11 ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会負担金)	R7.7~ R7.8	被爆継承課	被爆80周年となる令和7年に、広島市と共同で国連大学(東京都)において、主に大学生を対象としたヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展を開催することにより、次世代を担う若者に被爆の実相を伝え、核兵器廃絶に向けての国際世論を醸成する。	約1,200人	R7	(事業費全体) 16,368 (80周年) 801
	新規		国連大学でのヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展のオープニングセレモニーへの出席 (2.1.11 長崎原爆資料館運営費)	R7.7	被爆継承課	国連大学でのヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展オープニングセレモニーに出席し、平和アピール活動を実施する。	-	R7	(事業費全体) 64,999 (80周年) 266
新規	9	日本非核宣言自治体協議会総会における長崎・広島・那覇市長鼎談 【ゼロ予算事業】	R7.5	平和推進課	被爆地の広島市長と長崎市長、そして地上戦の被害を受けた沖縄の那覇市長を迎え、被爆者や戦争体験者がいなくなる時代を見据えて、被爆や戦争の記憶を次世代に継承するにあたっての課題や具体的取組などについて、ともに考える鼎談を那覇市で実施する。	142人		(事業費全体) - (80周年) -	

機会の創出

国内

(1) 被爆80周年記念事業一覧 (原爆被爆対策部)

取組方針		事業名 (款項目 事業3名称)	実施年月	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額	
機会 の 創 出	国 外	拡大 10	戦艦ミズーリ記念館でのヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催 (2.1.11 ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会負担金)	R7.8~ R8.2	被爆継承課	パールハーバーの戦艦ミズーリ記念館において、広島市と共同で、原爆・平和展を開催することで、被爆の実相を広く伝え、核兵器廃絶に向けた機運を醸成する。	約195,700人 (R8.1月末時点)	R7	(事業費全体) 16,368 (80周年) 3,017
		拡大 11	NPT再検討会議第3回準備委員会等でのアピール活動実施 (2.1.11 平和推進活動費)	R7.4~ R7.5	平和推進課	アメリカ・ニューヨーク市の国連本部で開催されるNPT再検討会議第3回準備委員会に被爆地長崎を代表して出席し、長崎の平和への思いを強く訴える。また、エバンストン市を訪問し、大学で講演を行うほか、核軍縮専門家等と意見交換を行う。(ニューヨーク市、エバンストン市)	-	R7	(事業費全体) 16,181 (80周年) 5,606
手 法	新規 12	長崎市被爆80周年記念事業費補助金 (3.4.5 被爆80周年記念事業費補助金)	R7.4~ R8.3	調査課	市民の平和の意識を醸成するため、市民等が実施する被爆実相の継承又は平和発信のイベント等を被爆80周年記念事業として10件選定し、補助を行う。	-	R7	(事業費全体) 10,000 (80周年) 10,000	
	新規 13	被爆80周年事業パッケージ広報 (3.4.5 平和祈念式典行事費)	R7.4~ R8.3	調査課	被爆80周年事業を広く周知するため、ホームページやSNS、市庁舎デジタルサイネージ、ポスター、チラシ等を活用し、パッケージ広報を行う。	-	R7	(事業費全体) 103,668 (80周年) 176	
	新規	被爆80周年記念ロゴの使用 【ゼロ予算事業】	R7.4~ R8.3	調査課	被爆80周年を広く周知するため、被爆80周年記念ロゴを活用する。	-		(事業費全体) - (80周年) -	
	拡大 14	平和の灯のポスター・チラシでの周知 (2.1.11 平和の灯事業共催費負担金)	R7.8~ R7.9	被爆継承課	平和の灯のポスター・チラシに被爆80周年のロゴマークをつけて配布し周知を図る。	約2,500人	R7	(事業費全体) 2,580 (80周年) -	
	拡大	市民大行進のポスター・チラシでの周知 (2.1.11 平和祈念行事共催費負担金)	R7.9~ R7.10	被爆継承課	市民大行進のポスター・チラシに被爆80周年のロゴマークをつけて配布し周知を図る。	約1,100人	R7	(事業費全体) 3,482 (80周年) -	
	新規 15	広報ながさきへの被爆遺構コラムの掲載 【ゼロ予算事業】	R7.4~ R8.3	被爆継承課	被爆80周年を契機として、市民に被爆遺構について関心を持っていただくきっかけとなるよう、令和7年度の広報ながさきにコラムを掲載する。	約174万部		(事業費全体) - (80周年) -	
	新規 16	被爆80周年PR事業(公用共通封筒への広告掲載) 【ゼロ予算事業】	R7.5~ R8.3	調査課	被爆80周年を広く周知するため、公用共通封筒(広告入り封筒)へ被爆80周年の周知の掲載を行い、機運醸成に繋げる。	-		(事業費全体) - (80周年) -	
	新規 17	原爆犠牲者慰霊花火の打ち上げ (3.4.5 平和祈念式典行事費)	R7.7	調査課	長崎市と広島市が連携した取組みとして、7月26日(土)開催の「ながさきみなとまつり」と「広島みなと夢花火大会」の両会場で、原爆犠牲者の慰霊と平和への祈りを込めた花火を打ち上げる。	-	R7	(事業費全体) 103,668 (80周年) 150	
	新規 18	平和メッセージボードの設置 (3.4.5 平和祈念式典行事費)	R7.7~ R7.8	援護課	被爆80周年を迎える長崎で、市民や観光客などに世界平和を願うメッセージを書いてもらい、または、見てもらうことで、改めて平和の大切さを感じてもらい、平和の醸成に繋げる。 ①メッセージカードの作成 7/26~27 ベルナード観光通 ②メッセージカードの展示 8/9 出島メッセ長崎	① - ②約1,200人	R7	(事業費全体) 103,668 (80周年) 995	
	新規 19	ラッピング路面電車の運行 (2.1.11 「長崎クスノキプロジェクト」推進費)	R7.7~ R7.12	被爆継承課	被爆80周年を契機として、本プロジェクトの周知を図ることを目的に、市内路面電車に「長崎クスノキプロジェクト」のラッピング広告を掲載し、運行する。	-	R7	(事業費全体) 27,758 (80周年) 6,213	
新規	福山雅治氏デビュー35周年ライブへのブース出展 (2.1.11 「長崎クスノキプロジェクト」推進費)	R7.8~ R7.9	被爆継承課	「長崎クスノキプロジェクト」の総合プロデューサーである福山雅治氏のデビュー35周年ライブの会場にブースを出展し、本プロジェクトの周知を図る。	約6,000人	R7	(事業費全体) 27,758 (80周年) 6,793		

(1) 被爆80周年記念事業一覧 (原爆被爆対策部)

※ピンクの網掛けは、当初の予定になかったが今年度に取り組んだ事業



取組方針	事業名 (款項目 事業3名称)		実施年月	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額	
手法	新規	20 長崎平和とハーフマラソンにおける平和発信 (2.1.11 「平和の文化」醸成事業費)	R7.11	平和推進課	マラソン大会の会場にフオスポット及び平和のメッセージなどを入れた缶バッジ作成ブースなどを設置し、スポーツを入口に平和を発信する機会を創出する。	-	R7	(事業費全体)	4,480
								(80周年)	138
	新規	21 平和映画上映会 (2.1.11 「平和の文化」醸成事業費)	R7.11	平和推進課	戦争・紛争地域で人道支援を行い、非人道性の観点から核兵器廃絶を積極的に推進する赤十字国際委員会(ICRC)との共催により、核兵器や人道支援などをテーマとした映画上映及びトークイベントを開催する。	約350人	R7	(事業費全体)	4,480
(80周年)								4,000	
新規	22	明治安田J1百年構想リーグ開幕戦(ピースマッチ)における平和発信 (2.1.11 「平和の文化」醸成事業費)	R8.2	平和推進課	被爆地をホームタウンとする長崎と広島ของทีมが対戦するJ1百年構想リーグの開幕戦(ピースマッチ)において、県・市・V.ファールン長崎による共同事業として、来場者による折鶴作成やメッセージフラッグへの寄せ書きなどを行うブースの設置や、長崎・広島若者による平和宣言の発信など、スポーツを通して平和について考え行動するきっかけづくりを行う。	不明 ※観客数 20,134人	R7	(事業費全体)	4,480
								(80周年)	-
ヒト	新規	23 戦後・被爆80年企画「対話を通じた国際的な平和人材育成プロジェクト」 (2.1.11 核兵器廃絶長崎連絡協議会負担金)	R7.7~ R8.3	平和推進課	核兵器廃絶長崎連絡協議会において、これまで行われてきた「記憶の継承」の取り組みを生かしつつ、次代を担う人材育成の取組みを更に発展させていけるよう、英国のシンクタンクである英米安全保障情報評議会(BASIC)の協力のもと、「対話」を通じた長崎発の新たな国際的な平和人材育成プロジェクトを立ち上げる。	プロジェクト参加人数 16人	R7	(事業費全体)	6,000
								(80周年)	1,000
	拡大	24	セントポール市学生の平和祈念式典への招待 (3.4.5 平和祈念式典行事費)	R7.8	調査課	セントポール市との姉妹都市提携70周年を記念し、セントポール市の学生(2人)を平和祈念式典へ招待し、日本の青少年との平和交流を通して、被爆の実相の継承を行う。また、参加者が帰国後に学校等で日本での体験を伝えることで、海外の若者へ被爆の実相を広く継承する。	-	R7	(事業費全体)
								(80周年)	1,784
新規	25	被爆者グループ活動交流等事業 (3.4.2 被爆者生きがいづくり費)	R7.11	援護課	被爆者のグループ活動に学生が参加する交流の場を創出するとともに、被爆者と交流する模様を撮影した写真など、笑顔や平和な日常を中心としたミニ動画を制作。SNSに投稿し、より多くの人に平和の大切さを感じてもらう。	-	R7	(事業費全体)	348
								(80周年)	200

(1) 被爆80周年記念事業一覧 (原爆被爆対策部)

取組方針	事業名 (款項目 事業3名称)		実施年月	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額	
場所	新規	長崎原爆資料館の展示更新 実施設計委託 (2.1.11 【補助】平和施設整備事業費)	R7.4~ R8.3	平和推進課	長崎原爆資料館展示のうちC・Dコーナーを中心に一部更新を行うにあたり、設計業務を委託する。	-	R7	(事業費全体)	66,900
								(80周年)	24,779
	新規	長崎原爆資料館の展示更新 制作施工委託 (2.1.11 【補助】平和施設整備事業費)	~R9.3	平和推進課	長崎原爆資料館展示のうちC・Dコーナーを中心に一部更新を行うにあたり、工事施工を行う(令和8年度債務負担)。	-	R8	(事業費全体)	476,200
								(80周年)	476,200
	新規	長崎原爆資料館の展示更新 資料館運営審議会 (2.1.11 長崎原爆資料館運営費)	R7.4~ R8.3	平和推進課	長崎原爆資料館展示のうちC・Dコーナーを中心に一部更新を行うにあたり、審議会の開催及び関係各所との協議等を実施する。	-	R7	(事業費全体)	64,999
								(80周年)	2,962
	拡大	27	被爆建造物内部の特別見学会 (2.1.11 被爆建造物等公開費)	R7.8	被爆継承課	被爆80周年という節目の年を迎えるにあたり、被爆の実相を継承し、恒久平和の実現を訴えるメッセージのさらなる発信のため、長崎市被爆建造物等Bランク「三菱造船船型試験場」において、通常公開していない被爆建造物の中を見ることができる特別見学会(限定1日)を、所有者の協力を得て実施する。	270人	R7	(事業費全体)
(80周年)									13
新規	28	原爆犠牲者慰霊平和祈念式典大テント製作 (3.4.5 【単独】平和祈念式典施設整備事業費 平和祈念式典施設整備費)	R5~ R7.8	調査課	8月9日の原爆犠牲者慰霊平和祈念式典の開催にあたり、平和公園に設営している大テントについて、被爆80周年の式典に向けて新たに製作する。	-	R7	(事業費全体)	17,900
								(80周年)	17,900
被爆80周年記念事業費合計 (原爆被爆対策部分)								合計	609,553
28事業								R6決算	35,000
								R7予算	98,353
								R8予算	476,200
【参考】令和7年2月議会 (令和7年度当初予算審査) 時								予算	613,194
27事業								R6予算	35,000
								R7予算	101,994
								R8予算	476,200



① 第11回平和首長会議
被爆80周年記念総会



⑦ ヒロシマ・ナガサキ
原爆・平和展（大阪）



⑫ 被爆80周年記念事業費補助金
で実施されたイベント



⑲ 長崎クスノキプロジェクト
ラッピング路面電車



⑳ 長崎平和ハーフマラソン
会場での平和発信ブース



㉒ 明治安田J1百年構想リーグ開幕戦
における平和発信

(2) 被爆80周年記念事業一覧 (原爆被爆対策部以外)

方 取 針 組	事業名 (款項目 事業3名称)	実施 年月	部局名	所属名	事業内容	参加者数など	予算 年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額
機 会 の 創 出	1 セントポール市姉妹都市提携70周年記念事業 (2.1.9 セントポール市姉妹都市提携70周年記念事業費)	R7.8 R7.10	企画政策部	国際課	日本初の姉妹都市提携であるアメリカ・セントポール市との姉妹都市提携が70周年を迎えることから、相互に訪問団を派遣し、更なる関係強化と交流促進につなげる。	49人	R7	9,236
	2 広島・長崎子ども会親善交歓会	R7.7	子ども部	こどもみらい課	広島・長崎の子ども達が交流し平和への意識を高めるとともに、連帯感や友情を深め、子どもリーダーとしての指導力や実践力を身につける。また青少年ピースボランティアと連携し平和学習を行うなど、さまざまな体験に取り組んでいる。令和7年度は広島市開催、被爆80周年として多くの子どもたちの参加があった。	100人		-
	3 広島長崎連携観光キャンペーン事業 (7.1.4 インバウンド誘致広域連携費)	R7.4～ R8.3	文化観光部	観光交流推進室	観光PR動画をSNSを用いて海外へ情報発信することや平和学習を取り込んだ観光プログラムの造成等に取り組むことで、両市の相互送客を含む訪日外国人観光客の誘客を行う。	ノベルティ配付 3,000個	R6 R7	4,959 10,000
	4 長崎平和ハーフマラソン (10.7.3 社会体育行事開催費)	R7.11	市民生活部	スポーツ振興課	被爆80周年に特化した記念事業として、平和に関する内容を充実させた「平和をテーマとするマラソン大会」をハーフマラソンとして開催し、被爆地長崎から平和のメッセージを広く発信する。	3,645人 (実走数)	R7	25,000
	5 Bリーグオールスター関連事業実行委員会 (2.1.7 まちのにぎわい創出事業費)	R8.1	企画政策部	官民連携推進室	Bリーグオールスター関連事業実行委員会において、U-15の広島県選抜チームと長崎市選抜チームによるピースゲームを共催、また、高架下広場において、「折り鶴パネル作成ワークショップ」を実施、同施設大型モニターで平和啓発動画を放映する。	ピースゲーム 2日目来場者数 5,361人 折り鶴527人	R7	1,700
	6 観光施設等ライトアップ事業	R7.8	まちづくり部	景観推進室	平和関連事業への関心を高めることを目的として、当室が実施している稲佐山から見える演出照明「長崎・星物語」において、令和7年8月1日から15日まで、平和の象徴である「はと」の星座のみ点灯する。(通常時は、はと座に限らず他の星座とローテーションで点灯している。)	-		-
手 法	7 長崎〇〇LOVERSプロジェクト インスタグラム 写真投稿キャンペーン	R7.9～ 10	企画政策部	長崎創生推進室	長崎〇〇LOVERSプロジェクトにおいて実施するインスタグラム写真投稿キャンペーンにおいて、令和7年度に開催されたながさきピース文化祭2025でのキャンペーンに併せて、平和をテーマとした写真を募集し、入選写真を選定して公式SNSにおいて紹介する。	4,776人 (キャンペーン開催に係る投稿のインサイト数)		-

(2) 被爆80周年記念事業一覧（原爆被爆対策部以外）

※ピンクの網掛けは、当初の予定になかったが今年度に取り組んだ事業

方取針組	事業名 (款項目 事業3名称)	実施年月	部局名	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額
手法	8 第73回長崎市民音楽祭	R7.10	市民生活部	文化振興課	児童合唱、女声合唱、男声合唱、混声合唱、小編成器楽、大編成器楽の各団体の発表(1団体あたり10分程度)及び参加団体・市民参加者による混声合同演奏及び器楽合同演奏を行う。そのうち合同演奏においては、被爆80周年にあたり、平和のメッセージを込めた作品を演奏する。	1,293人		-
	9 被爆樹木を活用した指揮棒「ヘイワノタクト」の製作	R8.2~3	市民生活部	文化振興課	被爆クスノキの定期管理で剪定された被爆樹木を題材として多様な製品を製作するプロジェクトを行う九州産業大学芸術学部とベネックス長崎ブリックホールの指定管理者などと連携し、指定管理者の自主事業として指揮棒「ヘイワノタクト」を製作する。今後は、長崎で開催される平和を考え、祈ることをテーマとしたコンサートでの使用や展示を行う。	-		-
	10 ながさき水道水の配布 (4.2.2 資源ごみ処理費/水道事業会計)	R7.4~ R8.3	環境部/ 上下水道局	資源循環課/ 総務課	現在、環境部及び上下水道局において、リサイクル意識の更なる向上と、長崎市の水道水の安全性やおいしさを、多くの市民に知っていただく機会を創出していくことを目的として、長崎市で排出された使用済みペットボトルの一部を、ケミカルリサイクルにより再生したペットボトルに、長崎市の水道水を充填した、オリジナルボトル『ながさき水道水』を製造している。令和7年に被爆80周年の節目を迎えるにあたり、この再生ペットボトルのラベルを、平和をイメージしたデザインにし、配布することで市民の平和意識の醸成を図る。	13,000本	R6	2,224
	11 最新のテクノロジーに触れる場の創出	R7.7~ R8.2	情報政策 推進部	DX推進課	デジタル技術に興味を持つ子どもたちが最新のテクノロジー(VR・ARや3Dプリンタ、プログラミングなど)に触れられる場(「テクノバながさき」(長崎大学内に設置))において、長崎大学が開発した「平和学習用VRシステム」を使った被爆前後の長崎の街並みを体験してもらうデジタルコンテンツを提供する。	イベント来場者数 186人		-
	12 被爆80周年平和教育実践集編集 (10.01.05 平和教育推進費)	R7.4~ R8.3	教育委員会	学校教育課	令和7年に被爆80周年の節目を迎えるにあたり、長崎市の人的資源やこれまでの小中学校での実践事例を指導案化・カリキュラム化を行い、地域人材や平和教育の優れた実践と教職員をマッチングさせるプラットフォームを構築する。実践事例は、プラットフォーム内に保存・公開し、年度ごとに蓄積・更新する。	-	R7	60

(2) 被爆80周年記念事業一覧（原爆被爆対策部以外）

※ピンクの網掛けは、当初の予定になかったが今年度に取り組んだ事業



方取針組	事業名 (款項目 事業3名称)	実施年月	部局名	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額	
手法	13 被爆関連市営住宅の周知	R7.10	建築部	建築総務課 住宅政策室	10月に開催される「住宅フェア」にて、被爆関連の市営住宅であるシュモー住宅のパネルを設置する。	-		-	
	14 お手軽ウオーキング～被爆地長崎平和の祈りコース～ (4.1.5 生活習慣病予防対策費)	R7.11	中央総合事務所	地域福祉課	ヘルシーウオークコースを活用した「お手軽ウオーキング」として、被爆遺構を巡る平和祈禱コースを歩く。	24人	R7	16	
	15 人権啓発研修会における被爆者体験講話の実施	R8.1	教育委員会 教育総務部	東公民館	公益財団法人長崎平和推進協会と連携した取り組みとして、令和8年1月29日(木)開催の東公民館人権啓発研修会において被爆体験講話を行う。	52人		-	
	16 長崎学ネットワーク会議公開学習会 (10.6.3 長崎学調査研究費)	R7.5	文化観光部	長崎学 研究所	令和7年度 第1回長崎学ネットワーク会議公開学習会「長崎における被爆者運動の形成と展開—長崎原爆被災者協議会の1950-60年代を中心に—」長崎における被爆者運動の形成期や活動初期を対象とし、長崎原爆被災者協議会を中心に、運動が自立化、自律化していった履歴について、長崎総合科学大学 長崎平和文化研究所 客員研究員の木永勝也先生にお話しいただく。	39人	R7	16	
	公民館講座における被爆実相の継承								
	17 「今でしょ長崎①～③」(春の講座)	R7.6～8	教育委員会 教育総務部	西公民館	例年開催している公民館講座において、被爆80年となる節目の年に、改めて平和について考えるとともに被爆の実相についての理解を深めていくような内容の講座を実施する。 1回目と2回目…平和さるく 3回目…平和講演会	42人(延べ)	R7	24	
	R7春の講座「長崎再発見」	R7.5 R7.6	教育委員会 教育総務部	滑石公民館	長崎の歴史や文化について学ぶ講座「長崎再発見」(全5回)の中で、1回目は長崎に投下された原子爆弾の全容について学習し、2回目は実際に原爆資料館を訪問して現地で被害の実情等について学習する。	32人(延べ)		-	

(2) 被爆80周年記念事業一覧（原爆被爆対策部以外）

※ピンクの網掛けは、当初の予定になかったが今年度に取り組んだ事業



方取針	事業名 (款項目 事業3名称)	実施年月	部局名	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額	
手法 18	被爆80周年記念ロゴを活用した被爆80周年の機運醸成								
	(株)セブン銀行と連携した平和の発信	R7.12~R8.2	企画政策部	官民連携推進室	(株)セブン銀行が、外国人訪問者向けの日本円をキャッシングできる機能を有するセブンATMの利用案内ポスターの作成にあたって、平和祈念像及び被爆80周年のロゴマークを掲載し周知を図る。	-		-	
	母子健康手帳交付者への配付資料へのロゴ掲載	R7.4~R8.3	こども部	子育てサポート課	令和7年に被爆80周年の節目を迎えるにあたり、妊産婦から子どもへ世代を超えて平和の意識を伝承する契機となることを目的として、母子健康手帳交付時の配布資料に、被爆80周年記念事業に関するメッセージ及びロゴマークを掲載する。	母子手帳交付数 1,358件 (R7.11月末時点)		-	
	子育てガイドブックへのロゴ掲載	R7.7~R8.6	こども部	子育てサポート課	子育てに関連する情報を集約した子育てガイドブックに、被爆80周年記念事業に関するロゴマーク及びメッセージを掲載し配布することで、子育て家庭における平和の意識の醸成を目指す。	約3,000部 (R7.11月末時点)		-	
	「エコライフ・フェスタ」チラシでの周知	R7.11	環境部	ゼロカーボンシティ推進室	チラシに被爆80周年のロゴ及び特設サイトのQRコードを掲載する。	来場者数 21,700人		-	
	環境啓発推進事業関連チラシでの周知	R7.4~R8.3	環境部	環境政策課	親子環境教室チラシに被爆80周年のロゴマークをつけて掲載する。	参加者数329人 (山77人、海80人、川118人、省エネ54人)		-	
	歴史的風致維持向上推進会議での周知	R7.11	まちづくり部	景観推進室	歴史まちづくりに積極的に取り組む九州内の14都市の首長が一堂に会する会議(長崎市主催)における広報用チラシに被爆80周年のロゴを使用することで、長崎市内外の人に向けて本市の被爆80周年を節目とする平和への発信に取り組む。	100人程度		-	
	うおのまち通信(第35号)での周知	R7.6	中央総合事務所	中央地域センター	中央地域センター管内で行われた地域の行事や取り組みなどを紹介する、中央地域センターの広報誌に被爆80周年のロゴを掲載する。	6,374部/回 (自治会班回覧用として配布)		-	
	地域住民向け広報紙「ゆうこうだより」での周知	R7.4~	南総合事務所	土井首地域センター	地域広報紙「ゆうこうだより」に被爆80周年のロゴや特設サイトのQRコードを掲載する。	約700部/月		-	
	地域住民向け広報紙「香焼だより」での周知	R7.8~R8.2 (偶数月)	南総合事務所	香焼地域センター	広報紙「香焼だより(自治会班回覧)」に被爆80周年のロゴマークを掲載する。	約180部/月		-	
地域住民向け広報紙「野母崎地域センターからのお知らせ」での周知	R7.5	南総合事務所	野母崎地域センター	地域広報紙「野母崎地域センターからのお知らせ」に被爆80周年のロゴマークを掲載する。	約2,000部		-		
地域住民向け広報紙「伊王島地域センターだより」での周知	R7.5~R8.3	南総合事務所	伊王島地域センター	広報紙「伊王島地域センターだより」タイトル横に被爆80周年のロゴマークを掲載する。	約350部/月		-		

(2) 被爆80周年記念事業一覧 (原爆被爆対策部以外)

※ピンクの網掛けは、当初の予定になかったが今年度に取り組んだ事業



方 取 針 組	事業名 (款項目 事業3名称)	実施 年月	部局名	所属名	事業内容	参加者数など	予算 年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額	
手法	イベントでのブース設置・PR								
	19	第136回九州市長会総会資料へのロゴ掲載及び会場での平和関連ブースの設置	R7.5	総務部	総務課	令和7年5月20日～21日に出島メッセ長崎をメイン会場に開催した九州市長会総会(115市出席)会議資料にロゴマークを掲載したとともに、会場にて周知ブースを設置する。	346人		-
		ながさきピース文化祭2025イベント会場での平和発信ブース設置	R7.9～R7.11	市民生活部	ながさきピース文化祭推進室	被爆80周年を広く周知するため、ながさきピース文化祭2025イベント会場において、被爆80周年や平和の文化を発信するブース設置を行い、機運醸成に繋げる。 ①9/20～21 長崎国際音楽フェスティバル2025 ②10/5 全国邦楽合奏フェスティバル in 長崎 ③11/2 川柳の祭典	① 約1,100人 ② 約 800人 ③ 約 230人		-
		ながさき実り・恵みの感謝祭2025でのPR	R7.11	水産農林部	水産農林政策課	例年11月末に行う「ながさき実り・恵みの感謝祭」において、被爆80周年記念事業のPRを行う。	20,000人		-
		第30回全国女性消防団員活性化長崎大会でのPR	R7.11	消防局	予防課	11月13日(木)に第30回全国女性消防団員活性化長崎大会が出島メッセ長崎で開催され、全国から約2,500人の女性消防団員が一堂に集まる中、会場にて被爆80周年を周知する展示ブースを設ける。	約2,500人		-
	広報紙における被爆80周年の機運醸成								
	20	市営住宅住民へ広報紙による周知	R7.7	建築部	建築総務課	市営住宅の指定管理者が発行している、市営住宅住民に向けた広報紙(市営住宅たより夏号)に被爆80周年について記載する。	6,800部		-
		式見地域センターだよりにおける被爆80周年関連記事の掲載	R7.7	中央総合事務所	式見地域センター	令和7年7月に発行した式見地域センターだより(地域センター広報紙 式見地区自治会回覧ほかに供する)に被爆について記載された書籍等を紹介することで被爆80周年への意識喚起を行う。	150部		-
	広報ながさきにおける被爆80周年関連記事の掲載								
	21	広報ながさき4月号～3月号 定番コーナー「被爆の記憶巡り」	R7.4～R8.3	企画政策部 原爆被爆対策部	広報広聴課 被爆継承課	広報ながさきの「被爆の記憶巡り」と題したコーナーで毎月、原爆の被害を受けた建築物や樹木などを紹介する。	約174万部発行		-
		広報ながさき4月号 特集	R7.4	企画政策部	広報広聴課	広報ながさきの特集「100年に一度のその先へ」で、被爆80周年となる令和7年度の1年間のスケジュールや記念事業を紹介する。	15万部発行		-
		広報ながさき8月号 特集	R7.8	企画政策部	広報広聴課	広報ながさきの特集「被爆後の長崎のまちと人々の歩み」で、被爆者の声とともに被爆当時を振り返ったほか、表紙では被爆者と交流証言者の写真を掲載する。	14.5万部発行		-
	22	記者会見用インタビューバッグ制作業務委託(2.1.2 広報広聴事務費)	R7.3	企画政策部	広報広聴課	記者会見にて市民に市役所の取り組みを視覚的にPRするため、記者会見用インタビューバッグを制作する。	-	R6	61

※ピンクの網掛けは、当初の予定になかったが今年度に取り組んだ事業

(2) 被爆80周年記念事業一覧 (原爆被爆対策部以外)

方取針組	事業名 (款項目 事業3名称)	実施年月	部局名	所属名	事業内容	参加者数など	予算年度	予算現額(千円) ※R6年度は決算額
手法	23 市ウェブサイトトップページスライドバナー	R7.6~ R7.12	企画政策部	広報広聴課	市ウェブサイトのトップページのスライドバナーに、被爆80年特設ページへリンクするバナーを掲載する。	-		-
	ゼロカーボンシティ長崎ポータルサイトでの周知	R7.4~ R8.3	環境部	ゼロカーボンシティ推進室	ゼロカーボンシティ長崎ポータルサイトにて、被爆80周年に係るホームページへのリンクを設置する。	サイト閲覧数 24,781人 (R7.4~R8.1末)		-
	市ウェブサイトにおけるページスライドバナー	R7.7~	南総合事務所	野母崎地域センター	市ウェブサイトの野母崎地域センターのトップページに、被爆80年特設ページへリンクするバナーを掲載する。	-		-
ヒト	24 子どもゆめ体験 (2.1.9 子どもゆめ体験費)	R7.8	企画政策部	国際課	日本初の姉妹都市提携から70周年を迎えるアメリカ・セントポール市を訪問し、現地の人々との交流を通じて文化・習慣などを肌で感じることで国際性を育むとともに、英語で被爆の実相や平和への思いを伝える力を高めることにより、次世代を担うグローバルな人材を育成する。	16人	R7	17,440

被爆80周年記念事業費合計 (原爆被爆対策部以外)

24事業

合計	70,736
R6決算	7,244
R7予算	63,492

【参考】令和7年2月議会 (令和7年度当初予算審査) 時

15事業

合計	49,138
R6予算	3,487
R7予算	45,651

被爆80周年記念事業数	52事業	被爆80周年記念事業費	680,289 千円
-------------	------	-------------	------------



④ 長崎平和ハーフマラソン



⑤ Bリーグオールスター
折り鶴ブース



⑧ 第73回長崎市民音楽祭



⑩ ながさき水道水



⑬ 第136回九州市長会総会
平和関連ブース



⑮ 広報ながさき8月号